

ウォーターランド通信

ウォーターランド南条 ☎ 47・3711 (月曜日休館)



一度効果を
試してみませんか？

1 回 20分
料 金 500円 (別途入館料)
※前日までに予約と料金のお支払
が必要です。

「パーソナル コアリラクゼーション」

ストレッチポールの上に仰向けで寝て、指導員の誘導に従っていくつかの動作を行うだけで、脊柱(背骨)を一番良い状態に戻すことができます。

こんな方におすすめ

- 肩凝りや腰痛がある！
- 脊柱の並びを整えたい！
- 姿勢をよくしたい！
- トレーニング後のリラクゼーションが欲しい！



「足ツボマット」導入しました！

25mプール・歩行コースに、足ツボマットを設置しました。

足裏は第2の心臓といわれる程、足裏のツボは身体の全身につながっています。凹凸のあるマットの上を歩くだけで、足のむくみ解消・疲労回復・健康のチェック・体力を維持できます。床のスベリ防止にもなるので、初心者の方でも安心して水中歩行が楽しめます。

善意のご寄付 ありがとう ございました

平成18年4月25日から5月15日の間に、今庄老健施設の施設整備に役立ててくださいと次の方々に寄付をいただきました。
ご寄付の趣旨に添い、今庄老健施設用備品の購入に活用させていただきます。



辻 ハルエ様 (杉谷)
玉村 節子様 (藤倉)
龍崎 政廣様 (広野)

和の風 町長随想

増澤善和

天皇家と南越前町(一)

女性天皇・女系天皇の可否など皇位の継承問題が国民に注目されている。また、来年は、福井県にゆかりのある継体天皇が即位されて千五百年目になるので、県ではその記念行事を計画している。このように、県内外で天皇家の関心が高まる中で、南越前町と昭和・明治・継体天皇との関係を県史・郡誌・旧三町村誌などで調べてみた。

一、昭和天皇

神格化されていた天皇が「人間宣言」され国民激励のための全国行脚を始めたのは、終戦半年後の昭和二十一年二月であった。北陸三県の御巡行は翌年の昭和二十二年十月二十三日の敦賀市より始まった。当町の今庄駅にお召列車が到着したのは二十四日午後一時半頃。駅前広場に立たれた陛下は、集った南条郡各村民千人以上の日ノ丸の旗を振り万歳の大合唱に手をあげられ、お言葉を賜った。あまりの感激に涙を

流した人も多かったようだ。私は、中学三年生であったが、軍服でない背広姿の陛下が新鮮で印象的だった。陛下の後日談の中に「敦賀のウナギと越前のオロシそばが美味しかった」とある。

二、明治天皇

西南戦争が終了した明治十一年の秋、明治天皇は越前から越前を視察巡行された。鉄道のない時なので、平道は馬車で、山道は板輿イタコに乗られた。お供は、太政官・岩倉具視(右大臣)、大隈重信(大蔵大臣)井上馨など八百二十四人、馬百十六頭の大行列だった。十月八日、午後一時武生発、二時二十五分脇本の中山兆平宅にて小休憩、三時十五分鯖波の石倉茂太郎宅で小休憩、四時十分湯尾の山口太郎兵衛宅前で板輿イタコに、三田村吉蔵方にて小休憩、馬車にて五時十五分、今庄行在所後藤輿右衛門宅到着。お供八百人余は七十数戸の民家に分宿となった。今庄は江戸時代の参勤交代以来の賑わいとなったようだ。(以下次号へ)